

自然教育園見ごろ情報

今週はここに注目!

国内の木々が色づきはじめました!



2025年11月27日号

詳しくはHPの「見ごろ情報」をご覧ください



<https://ins.kahaku.go.jp/>

附属自然教育園

検索



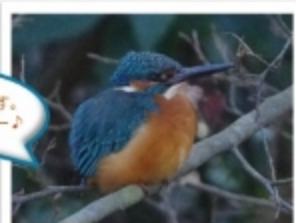
ゲンショウコ(実)

昔から生薬などとして利用され、茎や葉を煎じて飲むと薬効がたちに見れることから「現の証提(げんのしょうこ)」の名前がつけられました。別名は「御興草(みこくさ)」で、タネを弾き出した後の実の形がみこしの屋根に似ていることによりです。



カラスノゴマ(実)

細長い実の中の種子が、食用のゴマに似ることが名前の由来です。実が赤く色づき、とてもきれいです。



水辺で見られます。会えたらラッキー♪

カワセミ

「翡翠(ひすい)」「水辺の宝石」と呼ばれる、美しい鳥。水の中に潜り、魚やザリガニなどを捕らえます。大きなくちばしは狩りで大活躍するほか、横穴式の巣穴を掘るときには「ツルハシ」の役目をします。



ヤマコウバシ(黄葉)

オレンジ色に色づいています。山香(やまこばし)の名前は枝や葉を折るとよい香りがすることによりです。ショウブに似た香りから、「ショウブノキ」という別名もあります。



ムシアブミ(実)

トウモロコシのような形の赤い実が、ごろっと倒れています。赤くて美味しそうに見えますが、有毒で食べられません。



キチジョウソウ

吉祥草(キチジョウソウ)の名前は、「めったに花が咲かず、咲けば願えてある家に吉事がある」という言い伝えによりです。園では毎年花を咲かせています。赤い実も見られますが、これは昨年つけたものです。

実 11~4月



サネカズラ(実)

鮮やかな赤い実がたくさん集まってボール状になります。つやのある色合いが食欲をそそりますが、あまり甘みはないようで、食用にはされません。野鳥にもあまり人気がないようです。

全域で見られます



路傍植物園で見られます

センリョウ

古くから日本庭園に栽培され、花びらのない小さな花を多数つけます。赤くなった果実は、「千両」とも呼ばれ、正月の「縁起物」として飾られます。

天然記念物及び史跡

科博 自然教育園